

## 生物基礎 授業指導計画

授業者

- 1 日 時 令和6年2月16日(金) 5限
- 2 実施場所 11HR教室(南館1階)
- 3 H R 11HR
- 4 生徒観 普段から活発にペアワークやグループワークを行うことのできるクラスであるが、自らをとりまく環境に対する関心は薄い。多様な種が存在することで生態系が成り立っていることを理解させることで、その保全の重要性に気づかせたい。
- 5 単 元 生態系における生物の多様性
- 6 本時の目標 ①生態系とその保全について探求し、生態系における生物の種多様性を見いだすとともに、生態系のバランスと保全について理解する。  
②生態系について、ペアワークやグループワークを行い発表させることで、他者との協働による課題を解決する行動力・コミュニケーション能力を培う。
- 7 本時の展開

	指 導 事 項	留 意 点
導入 (10分)	水田の生態系を例にとりあげ、生態系とは何かを理解させる。	植生やバイオームとの違いを明確にする。
展開1 (10分)	生態系の中では、さまざまな生物がそれぞれ役割をもって存在していることを理解させる。	
展開2 (20分)	無選別のちりめんじゃこと選別されたちりめんじゃこから、生態系の豊かさとは何かを考えさせ、生態系における種の多様性を見いだして理解する。	生物の多様性の3つの視点についても触れる。
まとめ (5分)	多様性ホットスポットに触れ、生態系の保全の重要性を理解させる。	

### ※SSHに係る目標

- 「グローバルな視点に立ち、科学的によって思考力によって課題を発見する能力の育成」
- 「他者との協働により、課題を解決する行動力・コミュニケーション能力の育成」
- 「未来につながる新しい価値観を創造する力の育成」